

第34回大田区中小企業新製品・新技術コンクール 入賞企業の決定について

1 事業概要

(1) 目的

区内中小企業が開発した優秀な新製品・新技術を表彰することにより区内中小企業の技術力・開発力を広くアピールして販路拡大等を図るとともに、大田区産業の振興を図る。

(2) 表彰

入賞企業には、賞状、楯、企業紹介パンフレット・パネルを贈呈する他、協会広報誌やホームページ、マスコミ等を通じ幅広く周知を行う。また、展示会への出展助成（最大60万円）等の特典がある。

各賞	件数	賞金
最優秀賞	1件	30万円
優秀賞	2件	10万円
奨励賞	6件	5万円

2 選考経過

(1) 募集期間

令和4年5月25日（水）から6月30日（木）まで

(2) 応募件数

15件

(3) 審査方法

ア 面接評価

令和4年8月4日（木）、8月5日（金）の2日間

面接評価員3名（東京都立産業技術研究センター 技術経営支援部 技術評価支援室の研究員等）により、1社30分間の面接を実施。

イ 審査

令和4年8月29日（月）、9月15日（木）の2日間

審査委員7名（審査委員長は、佐藤勲 東京工業大学副学長。他6名は、学識経験者、報道関係者及び大田区管理職等）による審議・評価を踏まえ、入賞企業を決定。

3 選考結果

※裏面のとおり

最優秀賞1件、優秀賞2件を含む合計9件の入賞企業を決定。

4 賞状等の授与

表彰式の実施方法については現在検討中。

【第34回 大田区中小企業新製品・新技術コンクール入賞企業一覧】

No	賞	企業名	製品・技術名	概要	画像
1	最優秀賞	テック大洋工業株式会社	独立電源式大型動物の屋外自動給餌装置	動物園にいる大型動物の屋外設置型の自動給餌装置。太陽光発電の電力で稼働することで、飼育員の負担軽減、安全確保が可能。さらに、自動給餌による野生本来の生活環境に似せることで動物園飼育環境下での生活の質を向上させる。	
2	優秀賞	株式会社 OUTSENSE	サーフェス形状探索システム「ORIFACE」(オリフェス)	構造物に折りの概念を取り入れ、数ある折りパターンの中から客先の要求に合う折り構造を探索・提案するシステム。紙だけでなく、樹脂や金属等も対象とし、衝撃吸収性、吸音性等の様々な機能を付与することが可能。	
3	優秀賞	株式会社グーテンベルク	FFF式 3Dプリンター「G-ZERO」	高速造形が特徴の業務用FFF式3Dプリンター。高速化しても品質を担保するためにハード・ソフトウェアの設計、改良を施した。また、自動補正機能を有し、ユーザーの手間を大幅に削減した。	
4	おおたネットワーク賞 (奨励賞)	日本電波株式会社	電波時計レピータ NAR-40P/NAR-40C	ビル等の建物内で、標準電波が遮断されて受信が難しい場所でも、電波時計へ正確な時間を提供する製品。子機を複数台使用することで、Wi-Fi等に頼ることなく建物全体の電波時計をカバーすることが可能。	
5	おおた ECO推進賞 (奨励賞)	デザインアンドイノベーション株式会社	AI フィルム(炭素繊維一方向性シート状フィルム)	木造建築における木部材の耐震補強に、炭素繊維強化プラスチックフィルムを使用する施工方法。薄い一方向炭素繊維シートを木材繊維と直行する方向へ木材の表面に貼り付けることで割裂を防ぎ、木構造物の脆性的な崩壊を回避する。	
6	奨励賞	株式会社瀧口製作所	カメラカウンターシステム	入口と出口を持つ建物、エリアにて、内部人数の把握、1日の入退場者の時間毎のデータ蓄積が可能。データ蓄積、カウント数をそのままリアルタイムに別の表示機能を持つサイネージに発信することで、安全・安心を伝える。	
7	スタートアップ応援賞 (奨励賞)	株式会社 CyberneX	イヤホン型 Brain Computer Interface 技術「Ear Brain Interface」	イヤホン型の脳波計測器。自然な見た目でも小型軽量であるため日常使用でき、24時間以上の長時間連続計測が可能。リラクゼーション施術の効果を可視化し、自分に合ったリラクゼーションの探索・実感が可能となる。	
8	おおた秀逸技能賞 (奨励賞)	有限会社大野精機	クーラント噴射装置「クールミスター」	汎用工作機械で切削加工部の発熱を抑え、切粉切削加工部から除去するホルダー及びクーラント噴射システム。クーラントの内部給油及び噴射することで加工部を直接冷却し、切削熱による摩耗・消耗・破損を抑制し、安定した加工を可能にした。	
9	奨励賞	関西電子株式会社	廃 PET ボトルの新たな活用法「ポトリウム・ナノファイバー」	廃ペットボトルを再生加工したペレットからナノファイバーを製造する装置。区内の公共施設に設置し、回収されたペットボトル本数によりポイントを還元する等して、地域のごみ問題解決への一助を目指す。	